在宅ワーカー（個人事業主）に
アウトソーシング
してみませんか？

厚生労働省「在宅就業者総合支援事業」

在宅ワーカーは、様々な分野で貴社の業務をサポートできます。

在宅ワークとは、パソコンなどを使って、請負契約に基づきサービスの提供などを行う在宅での仕事をいいます。

在宅ワーカーが行う多様な業務

データ入力、テープ起こし、プログラミング、システム設計、翻訳、電話オペレーター、ライティング、Webページ作成、DTP、広告メール作成、イラスト作成・・・

●在宅ワーカーは、幅広い分野で活躍しており、様々な業務のアウトソーシングが可能です。

●在宅ワーカーは、少量の発注や急ぎの作業への対応など、柔軟な対応が可能です。

●在宅ワーカーは、固定コストの削減などにより、低コストでの対応が可能です。

契約に応じて仕事を行う

オフィス費用などの固定コストがかからない
●低コスト

柔軟な体制
●1名でもチームで対応可能
●少量の発注にも対応可能
●急ぎの発注にも対応可能

品質、セキュリティ、納期
…貴社が気になるリスクに対応する仕組みもあります。

●在宅ワーカーと企業の橋渡しをする「在宅就業仲介機関（※）」を通じて発注することで、組織的なバックアップによる品質、セキュリティ、納期リスクに対応します。

※在宅就業仲介機関とは　在宅ワーカーや個人事業主を組織して、発注企業との橋渡しをする民間企業・団体等の総称です。

●また、在宅ワーカーのチームを組織し、貴社が必要とする業務に一括して対応できます。

在宅ワーカー のメリット
- 低コスト
- 柔軟な対応

＋

組織・法人のメリット
- 組織としての対応
- 質・セキュリティの担保
- 単純作業からICT,デザインまで多様なスキルの確保
- ワンストップでの業務の進行管理
- 契約手続き等に関する社内への説明が容易

＝

個人発注のメリットと法人発注のメリットの両方を実現

●仲介機関は、様々な取組みを通じて、発注企業のニーズに応えることができる体制を準備しています。

在宅ワーカーの確保
- テストやトライアルでスキルの高い人材を集めている

バックアップ機能
- トラブルがあった際に組織としてバックアップし、業務を遂行できる体制がある
- 組織としての実績を持っている

人材の育成
- 在宅ワーカーにスキルアップの機会を設けている
- スキルに応じて待遇・役割に変化をつける

ディレクターの存在
- 在宅ワーカーのチームをまとめ、品質や納期の管理を行い、発注者との窓口になるディレクターがいる

Case Study

大手情報通信企業での活用事例

当社では、10年前より仲介機関を通じて在宅ワーカーに仕事を発注しています。柔軟な対応と高い品質にも関わらず、コストも安く非常に満足しています。これまで継続して自社サイト内の記事のライティングやデザインなど様々な仕事を発注してきました。

仕事がうまくいっている秘訣は、仲介機関の中に業務のマネジメントを行うディレクターがいることだと思います。ディレクターが、様々なスキルを持ったワーカーをまとめ上げ、業務の進行を管理し、仕事の品質をチェックしているから、納期や品質への期待にしっかり応えてくれます。

また、細部まで作業内容の指示をしなくとも、ディレクターが責任を持って業務の進行管理をしてくれるので、自分の業務が忙しい時にはとても助かります。ディレクターとの意思疎通さえきちんとできていれば業務の川上から川下までワンストップで依頼でき、しっかりとした仕事が期待できます。

仕事を進める上でのメリットも大きいので、これからも仲介機関を通じた発注をしていきたいと考えています。

在宅ワーカーに関する更に詳しい情報は | Home Workers Webまで

www.homeworkers.jp